

令和元年 土佐FBCⅢ Sコースがスタートしました

募集内容

- 第一期生 令和元年7月～令和3年3月 8名
第二期生 令和2年7月～令和4年3月 8名(最大10名)
第三期生 令和3年7月～令和5年3月 8名(最大10名)



目的

高知県の食品産業に競争優位性をもたらす研究開発人材を育成し、研究開発能力を高め、付加価値の高い事業創出に結びつける。

具体的には、4年間で研究開発人材を24名～30名育成・輩出し、付加価値の高い食品産業を創出することにより、loPが導くNext次世代型施設園芸農業事業の目標である、6名～8名の、永続的地元定着者または雇用増加を図る。

更に、高知県企業の研究開発マインドを向上させ

- 1) 研究開発費の増加 (研究開発費を5倍増させる)
- 2) 研究開発室の新設 (研究開発室を5件新設させる)
- 3) 研究開発者数の増加(研究開発者数を24名増やす)

をもたらし、修了生の高知県内への直接的・間接的経済効果として、土佐FBCⅢ終了年度(令和4年度)において50億円/年を目指す。

授業内容

初年度7月より、10月末まで、受講生のシーズや実現したいコンセプトに基づき3C、SWOT、PEST、4P等マーケティングツールを駆使し、競争優位性のある事業戦略を策定する。高知県食品産業総合支援事業費補助金に申請できるレベルまで仕上げる。

11月より、次年度10月末まで個別指導のもと、研究開発を進める。原則は、受講生の所属する企業で下準備を進め、隔週土曜日に大学に持ち込み実験等を行う。

次年度11月、12月はデータをまとめ、全体発表を行う。翌年1月には農芸化学会四国支部例会その他学会に相当する場で成果発表を行う。2月に審査会、3月に修了式。課題研究のあいだ、初年度2月と翌年度8月頃に、外部講師による専門講義と中間発表を行う。

2019年				2020年												2021年			
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
チームmtg プロポーザル	戦略決定 テーマ決定	個別研究												データまとめ 学会エントリー	農化四国 支部例会	審査会 修了式			

2年後には8つの新事業(新製品)が誕生！

受け入れ可能な研究開発テーマ例

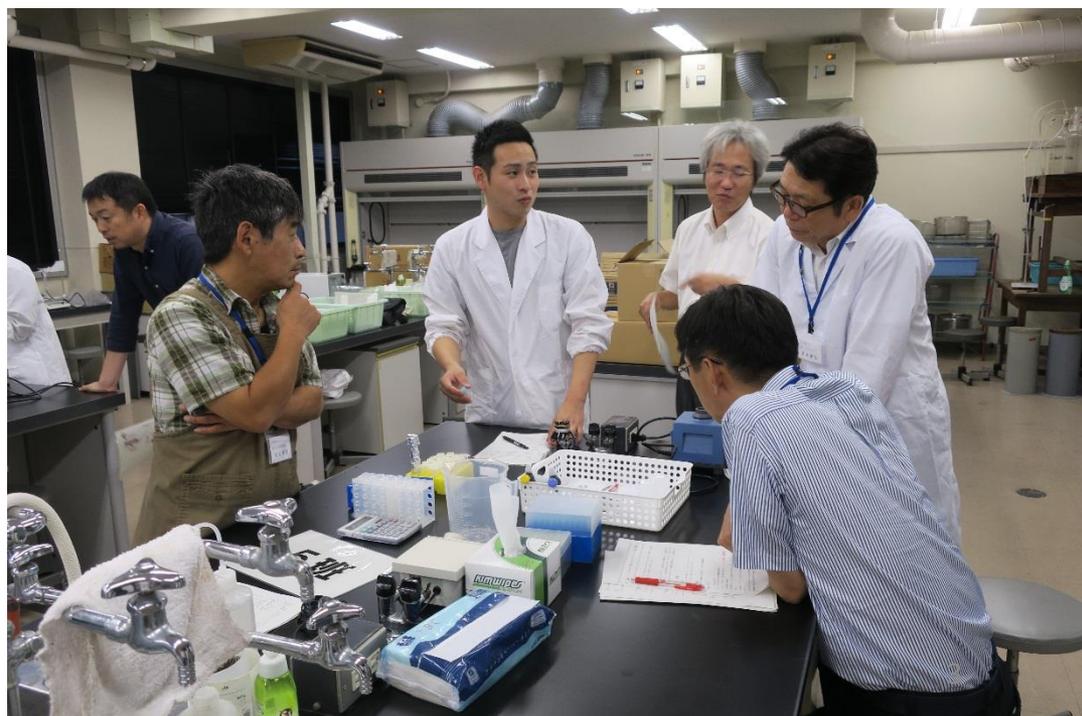
- 高知県の伝統野菜の抗老化機能を調べたい
- 生鮮食品の栄養成分を分析し、栄養機能表示や栄養強調表示で付加価値を高めたい
- 生鮮又は加工食品の機能性成分を測定し、機能性表示をつけ付加価値を高めたい
- 自らシステムティックレビューを行い、付加価値の高い機能性表示食品を創出したい
- IoTのテーマ候補の高付加価値野菜の探索
- その他2年間で実現可能な付加価値の高いテーマ

キャッチコピー
あなたの夢の実現化を
お手伝いします

受講料

一年目 165,000円

二年目 165,000円



問い合わせ先

〒783-8502 高知県南国市物部乙200

高知大学物部キャンパス内 土佐FBCⅢ企画運営室

TEL:088-864-5158・5138

FAX:088-864-5209

E-mail:tosa-fbc@kochi-u.ac.jp

HP:<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/~ckkc0001/tosafbc/>